

下野市高齢者保健福祉計画策定委員会 議事録

審議会等名	令和2年度 第2回 下野市高齢者保健福祉計画策定委員会
日時	令和2年10月16日（金） 午後1時30分 ～ 3時05分
会場	下野市役所 3階 302・303会議室
出席者	佐藤慎、小河原敦、前原多鶴子、山内博之、杉山勇樹、工藤海查生、山下幸子、関口賢治、田代初枝、渡邊欣宥、川俣一由、手塚譽、林和美、鈴木祐孝、阿部和枝、大門啓美、間板崇（欠席：山中宏美）
事務局側	健康福祉部長：手塚均、高齢福祉課長：長塚章、基幹型地域包括支援センター長：朝川美也子、主幹兼課長補佐：大山良雄、高齢福祉グループリーダー：高山哲二、主幹：江連正子、主査：笠野恵里、主査：中西つぐみ、地域包括支援センター長（いしばし）：大地由美子、センター長（こくぶんじ）：高津戸美枝、センター長（みなみかわち）：山下昌美
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者	0人
報道機関	0人
議事録作成年月日	令和2年10月30日

1 開会	事務局より、開会宣言。
2 委員長 あいさつ	林委員長よりあいさつ。 「今回は、アンケート調査結果や実績値等を基に次期計画の骨子・方向性等について忌憚のない意見をお願いしたい。」
3 議事	<p>(1) 前回会議録の確認について 委員会の承認により、佐藤委員と小河原委員より署名をもらう。</p> <p>(2) 各種アンケート調査の結果報告について</p> <p>(3) 下野市高齢者保健福祉計画の基本方針について</p> <p>(4) 下野市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について</p> <p>(5) 介護保険料の算定について（概要） (2)～(5)を資料とパワーポイントを使って事務局より説明した。</p> <p>(6) 今回会議録署名人の指名について 名簿No.3前原委員、No.4山内委員が指名された。</p> <p>(7) その他 ・パブリックコメントの実施時期の変更 社会福祉課で策定している「障がい者福祉計画」と時期を合わせる。</p>

議事（２）（３）（４）について

◆Q 1（渡邊委員）アンケート調査結果による認知症対策等の実情に対して、市としてどのように評価しているのか。

（事務局）昨年度実施したケアマネジャーへの聞き取り調査結果等により、当事者の実情は十分に理解・把握している。対策強化について国からも強く方針が示されているため、次期計画の各論において認知症対策の推進について述べる予定である。

◆Q 2（川俣委員）P49 表中の“20 代以下”の表現は誤りではないか。20 歳代が存在しなくなる。

（事務局）“20 歳代以下”が正しいため“歳”を追加標記する。

◆Q 3（佐藤委員）P41「就労継続のための調整」表中の“n=86”の調査対象はどのような方なのか。

（事務局）主な介護者で“就労している方”を対象としている。対象者の説明を記載する。

◆Q 4（佐藤委員）P49「介護人材実態調査」の目的を計画書中に記載するべきであり、また、調査結果を今後の施策にどのように反映するのか。

（事務局）訪問介護サービスの充実を検討するためのデータとして利用する。

◆Q 5（佐藤委員）P22～24「介護予防サービス、介護サービス」利用状況において、令和元年度実績が低いのは“訪問系サービス”であり、実態として人材不足になっているのではないか。また、人数不足の解消に注力してはどうか。

（林委員長）P49“訪問系事業所”では離職者が採用者数を上回っている。人材不足であるならば調査結果を更に精査し、P64の「6 人材の育成・確保」に関して“訪問系サービス人材の確保”をより深く検討したほうが良い。

◆Q 6（鈴木委員）P20「令和元年度認知症高齢者自立度状況」1,919 人と P29「認知調査高齢者の推移」令和 2 年度 2,529 人との違いや関係性はどのようなものなのか。

（林委員長）要介護認定を受けているか否かの違いであり、P29 は要介護認定を受けていない認知症の方も含めた推計値となる。

◆Q 7（前原委員）P38「人生の最後を迎える場所について」では自宅希望が多い。しかし、P46「在宅での生活の維持が難しい理由」では、介護に係る不安・

	<p>負担量増大の割合が多い。自宅で介護できず施設等に入所するケースを多く感じるが、今後の計画の中でこの件について検討を行う予定か。</p> <p>(林委員長) P47「居所変更理由」を踏まえ、第8期計画ではどのように改善するか、また、施設整備を含めその方向性について、希望と実情によるサービスを検討・議論する必要がある。</p> <p>◆Q8 (鈴木委員) P60「地域包括ケアシステムイメージ」各色囲みの目的・役割等について追加説明して頂きたい。また、右下にある市役所の役割を強調した表現にした方が良いのではないか。</p> <p>(事務局) ピンクが“自助・互助”、青が“共助”、緑が“公助”を想定している。判り易いイメージ図となるよう見直しをする。</p> <p>(林委員長) 2025年ビジョンの地域共生社会については、地域福祉計画と併せた“ダブルケア”の概念を記載したほうが良い。</p>
4 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より、策定委員向けにアンケート調査を実施し、サービス内容や基金取崩等の意見を伺うことで、次回委員会において検討する。</li> <li>・第3回委員会の開催会場は「きらら館」となる。</li> </ul>
5 閉会	事務局より閉会宣言